

科目名	文学国語	単位数	1単位	実施予定授業数	35時間
-----	------	-----	-----	---------	------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	知識及び技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。 思考力・判断力・表現力等 深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。 学びに向かう力、人間性等 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。
使用教科書・副教材等	論理国語（数研出版） 意味から習得 音訓別 需要頻出漢字リアルマスター3300（尚文出版） 評論・小説を読むための新現代文単語（いいずな書店）

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い（評価規準）	時数
第1学期	文学的文章の創作/物語のおわり	4 5	知識・技能 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)イ〕 思考・判断・表現 「書くこと」において、読み手の関心が得られるよう、文章の構成や展開を工夫している。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 『物語のおわり』の中で『空の彼方』という小説がどのような機能を持っているかを踏まえ、学習課題に沿って『空の彼方』の結末を創作しようとしている。	7
	1学期中間考査			
	昭和中期の小説/赤い繭	6 7	知識・技能 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の構成や展開、表現の仕方を踏まえ、解釈の多様性について考察している。〔B(1)エ〕 主体的に学習に取り組む態度 作品に込められた寓意を粘り強く考察し、これまでの学習を生かして話し合おうとしている。	7
	1学期期末考査			
【知識・技能】			定期テスト・小テストにより評価する。	
【思考・判断・表現】			定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。	
【主体的に学習に取り組む態度】			課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。	
【1学期の評価方法】			「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。	

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い（評価規準）	時数
第2学期	大正の小説/檸檬	8 9	知識・技能 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って文章にまとめようとしている。	7
	2学期中間考査			
	大正の小説/件	10 11	知識・技能 人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を豊かにする読書の意義と効用について理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔B(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って話し合おうとしている。	7
	2学期期末考査			

【知識・技能】	定期テスト・小テストにより評価する。
【思考・判断・表現】	定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。
【主体的に学習に取り組む態度】	課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。
【2学期の評価方法】	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。

学期	学習内容	月	学 習 の ね ら い (評価規準)	時数
第3学期	海外の小説/藤野先生	12 1 2	知識・技能 言葉には、想像や心情を豊かにする働きがあることを理解している。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈している。〔B(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 進んで作品内容を解釈し、学習課題に沿って意見を発表しようとしている。	7
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【3学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		
【年間の学習状況の評価方法】		各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ総括して、5段階評定とする。		